

文部科学大臣表彰 創意工夫功労者 申請書類チェックリスト

推薦ご担当者におかれましては、以下の項目を確認のうえ、様式創工1および様式創工2のご提出をお願いします。なお、本チェックリストは文書とあわせて提出してください。
(なお、候補案件毎の提出は不要です。)

様式創工1

| 中項目 | 小項目 | 確認項目 | チェック欄 (事業所の総務・人事担当者様) | チェック欄 (三重県) | 【ご参考】点検根拠 | 備考 |
|------------|-------------|---|--------------------------|----------------|--|---|
| | 全般 | 不実または虚偽の記載、もしくは様式に対し適正な記載がなされていないなどの推薦案件となっているか | | | 様式創工1創意工夫功労者賞候補者調査書 上部枠外審査対象外となるため要注意 | |
| | | 提出いただくファイル(様式創工1、様式創工2)と住民票(原本)についてはすべて揃っているか | | | ○文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞申請に必要な書類等 候補者調査票(様式創工1)、候補者一覧表(様式創工2)、住民票の原本(①平成31年4月1日以降に発行されたもので、②個人番号(マイナンバー)の記載がないもの、③世帯全員ではなく本人のみのもの) | ②については、「個人番号(マイナンバー)の記載のない住民票でも可。」と書かれているが、実際はマイナンバーの記載のないものを求められている。 |
| | | 様式創工1の一番上の点線枠が消されているか | | | ◎本様式中、破線枠については書類作成上の注意事項であり、実際の申請資料には記載しないこと。 | |
| | | A4用紙に記載されているか | | | 様式の大きさはA4に限る | |
| | | ワープロで書かれているか | | | 手書きは不可 | |
| | | 片面印刷となっているか | | | 両面印刷は不可 | |
| | | 2ページで書かれているか | | | 3枚以上は不可(業績名と候補者氏名を記載した【別紙】で補足することは可…3page以内) | |
| | | フォントサイズが10.5pt以上で作成されているか | | | 但し、図表や写真を埋め込んだ場合のキャプションはこれ以下でも可 | |
| 推薦順位 | | 空欄となっているか | | | (推薦機関記入欄となっている) | |
| 推薦都道府県名 | | 三重県となっているか | | | 提出時に記載をお願いします | |
| 推薦省庁名 | | 三重県庁となっているか | | | 提出時に記載をお願いします | |
| 1. 業績名 | | 様式創工2の記載と同一か | | | 異なっているとどちらが正しいのか判断がつかない | |
| | | 語尾を含めて23文字以内か | | | 表彰状への記載上文字が多すぎると入らないため必須の条件となっている。 | |
| | | 末尾は、「考案」「改良」「改善」の何れかとなっているか | | | 調査書記入上の注意の「3. 」に記載されている | |
| | | 空白「 」や句読点等が入っていないか | | | 原則として業績名には商標、商品名、会社名及び句読点等(「」,「.」)を使用しないこと。 | 「/」については、文科省に問い合わせをし「使用可」との連絡をいただいている。ただし文部科学省の担当者が変わると不可となる可能性あり。 |
| | | 商品名や社内ではしか通用しない名称が入っていないか | | | 原則として業績名には商標、商品名、会社名及び句読点等(「」,「.」)を使用しないこと。 | 商品そのものを表彰するものではなく、創意工夫を行った方を表彰するという趣旨のため。 |
| 2. 候補者について | 候補者氏名・年齢・性別 | 年齢について(及び様式18との整合性について) | | | 表彰年度(令和2年)の4月1日現在の満年齢を記載すること | 住民票との照合をお願いします。毎年十数件程度間違った記載となっています。 |
| | | ふりがなが「ひらがな」で書かれているか | | | 様式例を参照のこと。「カタカナ」は不可。 | |
| | 生年月日 | 正しい記載となっているか。また、候補調査書、戸籍抄本で相違はないか。 | | | | 住民票に記載の生年月日から転記すると望ましい |
| | 候補者の現住所 | 町名や番地を「-」でつないでいるか | | | | 「〇丁目」や「〇〇番地とせず、「-」でつなぐ。 |
| | 最終学歴 | 卒業年度が西暦ではなく、「昭・平」で記載されているか | | | 様式創工1の該当箇所は「昭・平」で記載するよう指定されている | |
| | | 学校名称が制度改正で変わった場合には現在名が(かっこ)書きで書かれているか。 | | | | |
| | | 卒業した学校が廃校となっている場合には「●●年廃校」と記載されているか | | | | 29年度の推薦時に同様の事例あり。 |
| | | 理系4年制大学を卒業していないか | | | 原則として高等学校卒業以下、ただし短大・高等専門学校及び文化系大学卒業者も対象とする。不明な場合には、対象の卒業校に確認すること。 | |
| | | 同一の業績により既に国家栄典(叙勲、褒章)及び文部科学大臣表彰科学技術賞(科学技術功労者等の文部科学大臣賞又は科学技術庁長官賞を含む)を受けていないか | | | 令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰推薦事務要領を参照 | |
| | | 27年から31年に創意工夫功労者賞を受賞していないか | | | 異なった業績による場合であっても、5年以内における同一人の重複した表彰は行わない | 30年度の紹介の際に他都道府県で発生したため、上乗せチェックが掛かった箇所(三重県は対象者無し) |
| | | 表彰年度の4月1日現在で同一会社に継続して5年以上勤務しているか。 | | | 表彰年度の4月1日現在で同一会社に継続して5年以上勤務していることを要する。 | |
| | | 学科名まで記載されているか | | | 記載様式参照 | 30年度の提出後全国的に指摘があった模様。県からは約半分の候補者について修正提出を実施。 |

| | | | | | | |
|------------------|-----------|--|--|--|---|---|
| | | 都・道・府・県立の何れかに丸が付いているか | | | 記載様式参照 | 私学の際は「〇立」の記載は不要 |
| 3. 候補者の勤務先に | | 株式会社の場合、「(株)」となっているか。また工場名まで記載しているか | | | 記載様式参照 | 特に国内の複数の都道府県に工場が立地されている場合記載要。 |
| | | 現在の勤務上の地位 | | | 工場などにおける職長以下(部下に対して管理権を持たない[管理職手当を支給されていない]者であれば、課長名の職でも可)の工員、農業従事者、医療補助者、研究所における技能職員、及びこれと同程度の者までとする。 | 管理職は候補対象外です |
| | 入社年月 | 昭・平で記載してあるか。表彰年度の4月1日現在で同一会社に5年以上勤務しているか。 | | | 「3.」記載要領参照 | 表彰年度の4月1日現在において、推薦時点での表彰対象となる職場における地位上の制限を満たす企業等の職員である必要があるため、退職予定の者や地位の変更等が見込まれる者は推薦しないこと。 【例】30年度の表彰の場合、25年4月に入社、29年7月に推薦、30年4月に表彰される場合は対象。 |
| 4. 社内表彰等及び本賞の受賞歴 | 社内表彰等の受賞歴 | 「本件業績に関わるもの」について記載されているか | | | 「13.」を参照 | 該当がない場合には「なし」と記載すること |
| 5. 創意工夫の内容について | ①業績名 | 「1. 業績名」および様式18に記載の業績名と同一となっているか | | | | |
| | ②創意工夫の内容 | 【推奨】 創意工夫を行うに至った背景について記載されているか | | | 背景の記載が現状の問題点と合わせてもれなくかつ深掘りして記載されていると、審査員は唐突感なく、かつ内容が創意工夫すべき対象であることを認識したうえで読み進めることができる。 | 背景の記載が充実していない場合、そもそもそのような創意工夫を行う必要性について審査委員に十分に伝わりにくい。また、現状の課題内容について通常の製造現場ですらで解決されていなければ |
| | | 【推奨】 創意工夫の達成に向け目指すべきゴールが適切か | | | 創意工夫を行うことでどのような効果を目指しているか。そのゴールを明確にできて初めて、創意工夫すべき考案・改良点を明確にすることができる。 | 設備導入だけで効果が見込めてしまう、または、誰でも容易に想像できる内容と審査員に思われないためにも、まずは目標が十分に創意工夫による効果がある設定となっており、かつ申請者の科学的・技術的な知見によってしかならうことができない内容であることが分かる記載となっている必要がある。 |
| | | 【推奨】 目標達成に達成に向け、創意工夫の実施内容が系統的かつ時間軸を踏まえた記載となっているか。 | | | すんなり解決してしまう創意工夫では、科学的・技術的知見を記載することが難しい。仮に創意工夫の取り組みが一度で成果を生み出した場合でも、なぜそのような創意工夫手段を取ったのかという思考過程が必要。その内容を詳細に記載することで申請者によってしか成し得ることができない科学技術の知見を審査員に示すことができる。 | 現状から目標に向け創意工夫を進めていく中、通常、問題解決は容易に成し得るものではなく、数々の試行錯誤による取捨選択という過程があって初めて行われるものと思われる。想定する複数の手法をまずは示し、実施に試験をした結果や、更なる改良を行った過程を記載することで、はじめて申請者に科学的知見や技術的知見があることを審査員に示すことができる。 |
| | | 創意工夫の実績については実績を数値化して記載しているか。 | | | 【職場の能率の向上、製品の増大、コストの引き下げ、未利用資源の活用、資材の節約、災害防止等に役立った実績を極力数値化して記載すること。】 | 創意工夫の記載内容の結果により定量化できる内容は効果を示すのに適正な指標となっており、かつその効果の計算式は、ここまで記載した創意工夫内容から飛躍していないこと。 |

様式創工2

| 中項目 | 小項目 | 確認項目 | チェック欄 (事業所の総務・人事担当者様) | チェック欄 (三重県) | 【ご参考】点検根拠 | 備考 |
|--------------|-----|---|--------------------------|----------------|------------------------|---|
| 全般 | | 様式創工1と同一の記載内容となっているか | | | | 異なっていると何れが正しいか判別がつかない場合があります。 |
| 推薦省庁名 | | 三重県庁となっているか | | | 提出時に記載をお願いします。 | |
| 氏名と業績名 | | 氏名と業績名に振りがなが「ひらがな」で付いているか。また、様式創工1と同一の記載となっているか。 | | | | |
| 年齢 | | 様式創工1に記載の内容と同一となっているか。年齢は、表彰年度の4月1日現在の満年齢となっているか。 | | | 表彰年度の4月1日現在の満年齢を記載すること | 住民票との照合をお願いします。毎年十数件程度間違った記載(様式創工1の年齢が異なっている、4月1日現在の年齢となっていない等)となっています。 |
| 候補者の勤務先名称・地位 | | 様式創工1と同一の記載内容となっているか。株式会社は(株)となっているか。工場名、職位が記載されているか。 | | | | |
| 推薦順位 | | 同一の業績名が複数名となっている場合、同一の推薦順位となっているか。その次の者の順位は、人数分飛ばした順位となっているか。 | | | | |